



「第四世代の人事」。これからの人事の役割を示す、コンフェリー・ヘイグループ 綱島邦夫氏からのメッセージです。

グローバルレベルでの経営環境の変化により「世界で最も称賛される企業のランキング」を見ても2010年を境に、「産業革命」で生まれた重厚長大企業からアップル・アマゾン・グーグル等「情報革命」の寵児達が、その座を奪い取っています。

ビジネスの風景が激変する中、人事にも「革新」をリードし企業価値を高める役割が求められます。

今回のフォーラムは、これからの人事のあり方を考える上での貴重な情報がたくさん含まれていると思いますので、是非ご参加下さい。

参加を希望される方は、裏面の申込書にて会員申請の上、お申込み下さい(入会金・年会費・参加費無料)。

## プログラムのご紹介



### 第四世代の人事

コンフェリー・ヘイグループ グローバルクライアントディレクター | 綱島 邦夫 氏

日時：2016年5月20日(金) 16:00~18:00

場所：新丸の内ビルディング14F パソナキャリア研修室 (〒100-6514 東京都千代田区丸の内1-5-1)

\*セミナー終了後、情報交換・名刺交換会も予定しております。軽食と飲み物もご用意致しますので、お時間の許す範囲でこちらも是非ご参加下さい。

#### メッセージ

「クロトビルを壊す」「トヨタウェイを変える」。

世界の超一流企業として最も尊敬され、長い歴史を生き延びてきた長寿企業であるGeneral Electricとトヨタ自動車は、数年前から発信を始めたメッセージです。大きな成功を収めた二つの企業が何故、成功の抛り所となった素晴らしい伝統を否定するのか。彼らが何に悩み、何を換えようとしているのか、背景にはビジネスの新たな未来へのイマジネーションがあるように思います。「第四世代の人事」とは、労務の管理(第一世代)、社員へのサービスの提供(第二世代)、事業戦略推進のパートナー(第三世代)を超えた新しい人事の役割、企業革新のリーダー(第四世代)としての役割を意図した言葉です。

第四世代の人事が主導して取り組むテーマは何か、私は少なくとも以下の5つが重要であると思います。

- 経営者の開発：戦略を考え、決断するだけでなく、決断の結果を成果に繋げる力量、Executionの力量を持つ経営者の開発
  - Mission Critical Roleを担う人材力の開発：企業の成功、企業の未来の運命を決する重要な役割の定義と計画的な開発
  - 世界視野での人材調達：国境・人種・文化を超え、最適な人材を世界規模で発掘し、調達し、活用する組織力の創造
  - 人材開発の文化の創造：人材育成は経営者、ライン長の重要な責務であるという価値観の醸成と、実践する能力を開発するリーダーシップ
  - 人事部門の破壊と創造：第四世代の人事を担う強力なプロフェッショナル集団の開発
- 今回のフォーラムでは、人材マネジメントにおける世界のメガトレンドを考え、日本企業が世界で成長を続けるために取り組むべきテーマを皆様と議論したいと思います。

#### プロフィール

慶応義塾大学経済学部、米国ペンシルベニア大学ウォートンスクール(MBA)卒業。野村證券を経て、マッキンゼー・アンド・カンパニー(ニューヨーク事務所)に入社、経営コンサルティングのキャリアを築く。その後ラッセルレイノルズ、CSCインデックスの日本代表の役割を担い、ヘイグループに参加する。コンフェリーとヘイグループの統合により現職に就く。

現在は、世界で活動するグローバル企業における経営人材の発掘・開発と、企業の成功の命運を握る人材・組織能力の開発の支援を行っている。

著書は「役員になる課長の仕事力」(日本能率協会)「エグゼクティブの悪い癖」(日本経済新聞出版社)「社員力革命」(日本経済新聞社)「成功の復讐」(日経BP社)他、多数。

